

社会資本総合整備計画 中間評価書

令和07年02月28日

計画の名称	北部九州地域における自動車産業等活性化戦略（広域的な物流の効率性向上）											
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	熊本県											
計画の目標	<p>北部九州地域においては、平成21年から29年の間に1.3倍と製造品出荷額は増加しており、その主力産業である自動車産業、半導体関連（ ）等の事業活動は、近年成長している。九州北部地域（熊本県、福岡県、大分県）のこの主力産業の事業活動を促進するためには、基盤整備などが必要である。</p> <p>この地域では、北部九州自動車産業アジア先進拠点プロジェクトを戦略的に進めており、この発展に寄与するような広域的な物流結節点（空港・港湾・高速道路IC・貨物ターミナル駅）との相互アクセス性や物流の効率性を高め、北部九州地域における産業経済活動の国際競争力の向上と地域の自立を促進させる。</p> <p>（ 全国に占める割合：自動車生産台数16.8%[H29]、集積回路出荷額30.7%[H27] ）</p>											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	14,934	A	14,934	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H29	R4	R6
1	<p>【熊本県・福岡県・大分県 共通目標】 製造品出荷額等 132,787億円（H29）から約145,065億円（R6）に増加（12,278億円（8.5%）の増加）</p> <p>【熊本県・福岡県・大分県 共通目標】 製造品出荷額等</p> <p>（製造品出荷額等の増加割合）=（評価時点の年間製造品出荷額 - H29の製造品出荷額） / （H29の製造品出荷額）</p>	132787億円	141486億円	145065億円
2	<p>【熊本県 単独目標】 熊本県内の製造品出荷額等 約28,300億円（H29）から約31,800億円（R6）に増加（3,500億円（12%）の増加）</p> <p>【熊本県 単独目標】 製造品出荷額等</p> <p>（熊本県内の製造品出荷額等の増加割合）=（評価時点の年間製造品出荷額 - H29の製造品出荷額） / （H29の製造品出荷額）</p>	28300億円	30800億円	31800億円

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
広域連携事業	A11-001	道路	一般	熊本県	直接	熊本県	都道府 県道	改築	(主)荒尾長洲線(野原バ イパス)	バイパス L=1.56km	荒尾市						456	-	
	A11-002	道路	一般	熊本県	直接	熊本県	都道府 県道	改築	(一)御船甲佐線(滝川工 区)	現道拡幅 L=0.54km	御船町						226	-	
	A11-003	道路	一般	熊本県	直接	熊本県	都道府 県道	改築	(一)住吉熊本線(上庄工 区)	現道拡幅 L=0.50km	合志市						215	-	
	A11-004	道路	一般	熊本県	直接	熊本県	都道府 県道	改築	(一)御船甲佐線(田口工 区)	現道拡幅 L=0.35km	甲佐町						598	-	
	A11-005	道路	一般	熊本県	直接	熊本県	都道府 県道	改築	(一)長洲玉名線(平原工 区)	バイパス L=1.30km	長洲町						1,800	1.6	-
	A11-006	道路	一般	熊本県	直接	熊本県	都道府 県道	改築	(一)新山原水線(原水工 区)	バイパス L=0.80km	菊陽町						2,500	1.5	-

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
広域連携事業	A11-007	道路	一般	熊本県	直接	熊本県	都道府 県道	改築	(主)玉名立花線(河崎工 区)	現道拡幅 L=1.00km	玉名市						764	-	
	A11-008	道路	一般	熊本県	直接	熊本県	都道府 県道	改築	(主)玉名立花線(内田工 区)	現道拡幅 L=0.90km	和水町						210	-	
	A11-009	道路	一般	熊本県	直接	熊本県	国道	改築	(国)266号(望薩峠拡幅)	バイパス整備 L=2.10km	天草市・上天草 市						845	-	
	A11-010	道路	一般	熊本県	直接	熊本県	都道府 県道	改築	(主)八代鏡宇土線(新松 原工区)	現道拡幅 L=0.21km	宇土市						70	-	
	A11-011	道路	一般	熊本県	直接	熊本県	国道	改築	(国)266号(望薩峠2拡幅)	バイパス整備 L=2.1km	上天草市、天草 市						3,000	1.6	-
	A11-012	道路	一般	熊本県	直接	熊本県	都道府 県道	改築	(主)大津植木線(辻久 保工区)	バイパス整備 L=2.32km	合志市						950	-	
											小計						11,634		

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
広域活性化事業	A11-013	道路	一般	熊本県	直接	熊本県	国道	改築	(国)325号(菊池拡幅)	バイパス整備 L=2.40km	菊池市						1,400	2.8	-	
	A11-014	道路	一般	熊本県	直接	熊本県	国道	改築	(国)325号(鹿本2工区)	バイパス整備 L=3.10km	山鹿市						150		-	
	A11-015	道路	一般	熊本県	直接	熊本県	国道	改築	(国)443号(空港北拡幅)	バイパス整備 L=2.50km	大津町						950		-	
	A11-016	道路	一般	熊本県	直接	熊本県	都道府 県道	改築	(一)辛川鹿本線(辛川工区)	バイパス整備 L=0.70km	菊陽町						800		-	
												小計						3,300		
												合計							14,934	

中間評価

中間評価の実施体制、実施時期	
中間評価の実施体制	中間評価の実施時期
熊本県土木部にて、中間評価を実施	令和7年2月
	公表の方法
	熊本県ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>令和5年3月までに、(主)荒尾長洲線(野原バイパス)、(国)266号(望薩峠拡幅)のバイパス整備や(一)御船甲佐線(滝川工区)、(一)住吉熊本線(上庄工区)、(主)玉名立花線(内田工区)、(主)八代鏡宇土線(新松原工区)の現道拡幅が完成供用したことにより、ICと各拠点施設間のアクセス性及び安全性が向上した。</p> <p>【効果事例】</p> <p>A11-001(主)荒尾長洲線(野原バイパス)のバイパス整備により、南関ICから拠点施設「名石浜工業団地」へのアクセス時間が3分短縮</p> <p>A11-009:(国)266号(望薩峠拡幅)の現道拡幅により、松橋ICから拠点施設「倉岳工業団地」へのアクセス時間が5分短縮</p>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況(必要に応じて記述)	
特記事項(今後の方針等)	
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、自動車産業の製造品出荷額が一時的に減少したが回復傾向にある。また、半導体産業は、半導体の需要拡大により製造品出荷額は増加傾向である。 令和4年5月に策定された「北部九州自動車産業グリーン先進拠点推進構想」のもと、世界に選ばれる電動自動車(EV)の開発・生産拠点の形成に向けた企業誘致や地元企業の電動車分野への参入支援への取組が加速しており、北部九州地域における自動車産業等の活性化が今度とも見込まれる。 事業中の要素事業については、計画期間内に完成又は部分供用するよう事業進捗を図り、広域的な物流結節点との相互アクセス性や物流の効率性を高めることにより、事業効果の発現を目指す。 	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	北部九州地域の製造品出荷額等 132,787億円(H29)から141,486億円(R4)に増加(6.5%増)	
	中間目標値	141486億円
	中間実績値	147936億円
2	県内の製造品出荷額等 28,300億円(H29)から30,800億円(R4)に増加(8.8%増)	
	中間目標値	30800億円
	中間実績値	34800億円